

【水彩画クラブ27】卒業後5年目の活動 2017年8月

◇第100回活動:2017年8月14日(月) 午前9時30分～午後5時 スエック207室

朝9時20分頃に、内ちゃん先生に「よろしくお願ひします！」の挨拶で、今日の一日活動が始まった。最初に、前会活動で習作した『星の砂浜』の自作品を黒板上に展示し、内ちゃん先生の画評を聞いた。

自分は2枚描いたが、「空の色が緑っぽいねー」との指摘を内ちゃん先生が・・・。

そう、空の色と海の色をつくる絵の具に混同があった。空の色を「空色+黄色+淡青色」でつくり、海の色を「鮮青色」基本でつくった。結果は緑っぽい色合いの空になってしまった。内ちゃん先生に確認しました。空の色は「鮮青色+深い青色+暗青色少し」、海の色は「淡青色」が基本色だったのだ。

今日の一日活動で描きあげる作品は『塩沢湖畔の洋館』だ。宿題として、水張りした水彩紙に課題写真をデッサンし、左側の洋館を描き、夫々の木々群境いめなどに点々とマスキングをしてきた。

1. 洋館の後ろから右への木々群に、淡く色をおいていく。

- ① 洋館の後ろ、正面右側の明るい木々、右側上部の木々間に見えるところに、黄色系を小筆に取り、ドライブラシ技法で枝向きに合わせるように色をおき、直ぐに水筆でぼかしていく。
- ② 色をおいたところをドライヤーで乾かしてから、課題写真を見ながら先端への枝向きを意識してチョンチョンとダブルマスキングを施しておく。
- ③ マスキングインクを乾かしてから、水溶きしたきれいな緑色(きれいな青色+黄色)を小筆に取り、ドライブラシ技法で課題写真を見ながら葉群の重なりで陰になって見えるところに、チョンチョンとおいていく。

2. 塗った色をドライヤーで乾かしてから、針葉樹の木々を描いていく。

- ① 水溶きした針葉樹の緑色(暗青色+深緑色)を小筆に取り、課題写真を見ながらドライブラシ技法で枝向きに合わせて擦り上げて色をおいていき、直ぐに水筆でぼかしていく。
- ② 右側部分の緑っぽい林や、下部の水際に生えている草むら、対岸の水際や奥の草むらなどにも同じ色で描いていき、直ぐに水筆でぼかしておく。
- ③ ドライヤーで乾かしてから、針葉樹木々の先端部分に、枝向きに合わせてマスキングをランダムに施しておく。
- ④ 暗青色+深緑色の混色に焦げ茶色を混ぜて暗めで濃い緑色をつくり、課題写真を見ながら針葉樹の影部分や濃い部分に点々と色を小筆でおいていく。

3. 右端の木々群と奥の暗い木々、湖面際の茶褐色の木、右側土手際の草藪などを描いていく。

- ① きれいな緑色(きれいな青色+黄色)を小筆に取り、ドライブラシ技法で課題写真を見ながら枝向きに擦り上げるように描き、直ぐに水筆でぼかしていく。
- ② 一寸高めに赤茶っぽく見える木の葉っぱは、黄色+焦げ茶色の混色に、きれいなオレンジ色を混ぜてつくった色を小筆に取り、葉っぱの向きと枝向きに合わせて色をおいていく。
- ③ 右端立ち木根元と正面右奥の地面に、黄土色+焦げ茶色の黄色っぽい茶色を小筆に取って課題写真を見ながら塗っていく。

黒っぽい影は焦げ茶色+暗青色少な目の影色で、課題写真を見ながら描いていく。

- ④ 立ち木根元から右側手前の道などに、影色にオレンジ色などを混ぜた色で描いていく。
- ⑤ 右下角の淡い草むらにも、淡めの緑色を薄めに塗っておく。

4. ドライヤーで十分に乾かしてから、焦げ茶色に暗青色を少なめに混ぜた濃い茶色の影色をつくり、小筆で課題写真を見ながら正面右側に見える幹や枝木を描いていく。木の幹は染めるのではなく、片側を濃い目に反対側を淡めに描いて丸みを帯びて見えるように描いていく。

5. 全体をドライヤーで乾かしてから、空の色を塗っていく。

- ① 空の色をつくる。
鮮青色+暗青色に、深い青色を混ぜた空の色を水溶きしておく。
- ② 予めマスキングしておいた各木々の先端部までにハケで上部からサーッと往復しながら水を塗っていく。
- ③ 大きな平筆に空の色を含ませ、左から右へサーッと塗っていき、所謂一行ずつ左から右へ塗っていく。下部にいくにしたがって絵の具を新たに含ませずに、そのまま淡くなる様に塗っていく。
塗り終わったら画板下部を上げて塗った絵の具が空上部に流れて、濃い目になっていく。

④ 同じ空の色で、湖面下部の空が映っている箇所に塗っておく。

6. 湖面を塗っていく。

① 対岸の水際、右側手前の草葎先端にマスキングを施す。

② 湖面に映り込んでいる洋館の白い手摺(ホワイト)、白っぽい煙突(灰色)、赤茶の板壁(きれいなオレンジ色)などの揺らめく形を、課題写真を見ながら、その形に合わせて描いていく。

③ 煙突等の影の左側と右側湖面に、予めハケで水を塗ってから、水溶きした黄色を平筆で対岸水際から右側草むらまで塗っていく。

7. 塗った色をドライヤーで十分に乾かしてから、

① 映り込んでいる洋館の手摺、赤茶のいた壁、白っぽい煙突にマスキングを施す。

8. 湖面を塗っていく。

① 色をつくる。

a) 黄色っぽい影色 暗青色+焦げ茶色の混色に、黄色を混ぜる

b) 暗くて濃い目の影色 暗青色+焦げ茶色多目の混色

② 湖面全体(映り込む湖面除く)にハケで水を塗る。

③ 水溶きしたb)の影色を平筆に取り、水際の木々などが湖面に映り込む様を、水際から下方にスーッと描いていく。

④ 黄色を水溶きし平筆に取り、水際の木々などが湖面に映り込む様を、水際から下方にスーッと描いていく。

同じ色で湖畔の木々が湖面に映って黄色っぽく見えるところに、小筆で課題写真を見ながら色を、波紋を描くようにおいていく。

⑤ 青空を残して湖面全体に、水溶きしたa)色を平筆に取って水平や縦方向、波紋を描くように色を塗っていく。

⑥ 映る空との境い目に見える波紋を、課題写真を見ながら描いていく。

※お昼時間の1時間休憩を挟み、午後4時までに皆んな一心不乱に描きあげた。

9. 次回(9月11日(月))の活動予定

次会は11月開催の『美松会 第5回美術展』に出展する「自分の風景」を描いていく。

F6orF8のウォーターフォード水彩紙を水張りし、各自が決めた「自分の風景」をデッサンしてくること。